

(第三種郵便物認可)

# 都心部の雁木 台帳に残そう

「雁タク」運航西区のNPO法人

## 本年度めど調査開始

雁木カヌキタクシーを運航する西区の特定非営利活動法人(NPO法人)「雁木組」が七日、都心部に残る雁木の形態などの本格調査を始めた。本年度内に「雁木台帳」を作成。市民に公開し、「雁タク」の利便性アップにつなげたい考えた。



メジャーを手に雁木の奥行きや幅を測るメンバー

雁木は、昭和初期まで木材などの揚げ降ろしに使われた階段状の船着き場。メンバー三人が夕方の干潮時間に合わせ、中区河原町の雁木を調べた。メジャーで幅や高さを測り、段数を数えた。川底の状況もチェックし、写真に記録した。今後、高度が測れる衛星利用測位システム(GPS)で最下段の海拔を測定。潮位表と照らし、

雁木ごとの利用可能時間を絞り込む。

都心部には雁木が三百十八カ所ある。現在、停留所として利用する五十

カ所から調査し、徐々に対象を広げる。「台帳」には個々のデータに加え、周辺の公共施設なども記す。当面は事務所で開催、

将来的にはホームページにも載せる。氏原睦子事務局長は「台帳を通じ、雁木や川に興味を持つてほしい」と話している。